

高崎市文化財調査報告書第 383 集

# 池南遺跡

---

－雨水対策事業鍛冶町雨水バイパス管築造工事に伴う発掘調査報告書－

2017

高崎市教育委員会

# 序文

高崎市は、平成 21 年 6 月 1 日吉井町と合併し、人口 36 万都市（37 万 5255 人平成 28 年 12 月現在）となり、平成 23 年度には中核市となりました。交通結節点という地理環境を活かし、群馬県域の中核を担う地域として安定した成長を目指しています。

高崎市教育委員会では昨年度 126 件の遺跡確認調査を行い、うち 36 件の発掘調査を行っています。これらの発掘調査により、新たな発見がありました。池南遺跡からは中世の溝跡が確認されました。これらの埋蔵文化財は、郷土の歴史や文化を知る上で欠かせない資料であり、調査成果に検討を加え、地域資料として学校教育・郷土学習の場で積極的に活用することで、風土に根ざす未来の都市づくりに役立てられるものと確信しております。

本遺跡の発掘調査にあたり、関係諸機関や地元関係者の皆様から多くのご指導・ご協力をいただきました。最後になりましたが、これらの方々に心より感謝の意を表すと同時に、現地調査や整理業務に携わった作業員の方々の労をねぎらい、序といたします。

平成 29 年 3 月

高崎市教育委員会  
教育長 飯野 眞幸